

## 令和8年度肢体不自由教育部門

### キャリア教育・進路指導の概要・特色2

#### 【各学部・学年別の指導内容】

#### I. 各学部・各学年の進路指導の詳細

##### 1. 本校独自の取組み（児童・生徒の取組）

全 学 部	<b>（1）外部専門家等の活用</b> QOL(生活の質)を高めて、現在も将来も地域や家庭で活躍できるように、外部専門家等による指導やアセスメント（評価等）の機会を設けています。  ① PT 理学療法士                      ② OT 作業療法士 ③ ST 言語聴覚士                      ④ ORT 視能訓練士 ⑤ 臨床心理士                          ⑥ 音楽療法士 ⑦ 健康運動指導士                      ⑧ 歯科医（摂食指導） ⑨ 学習指導アドバイザー          ⑩ 教材アドバイザー ⑪ 支援機器アドバイザー          ⑫ スクールカウンセラー
	<b>（2）最新の ICT 機器やコミュニケーション支援機器を使った学習の実施</b> 開校時から、重点的に取り組んでいます。GIGA スクール端末・VOCA・一人1台端末などを利用してしています。その他に導入している主なものは次のとおりです。
	タブレット端末のアプリ、コミュニケーション機器、視線入力装置、PC 入力支援機器（特殊マウスやキーボード）、特殊なスイッチ類、各種固定器具 等
	デジタル機器に詳しい支援機器アドバイザー、OT（作業療法士）、ORT（視能訓練士）が連携して、中学部・高等部の授業で活用できるように教材開発しています。

	<p>(3) 学部間移行（進学）前の、進学する学部の授業体験、学校見学等 小学部6年生、中学部3年生の児童・生徒が、進学予定の学部の授業等を体験できる仕組みを作っています。</p>
中 学 部 ・ 高 等 部	<p>(1) 中学部・高等部の生徒全員を対象にした取組 ①年一ヶ所以上、進路先施設や学校等の見学</p> <p>(2) 高等部の生徒全員を対象にした取組 高等部進路学習週間の実施：年間1回、1回3週間とする。 生徒の実態に応じて、将来の活躍につながる体験的な学習を柱に展開する。</p> <p>(3) 個別の実態に応じた取組 ①高1での就業体験（企業等）、高2での体験実習（福祉施設、企業等）、高3での本実習（福祉施設）、現場実習（企業等） ②学校設定教科「産業社会と人間」「キャリア演習」「パソコン演習」「進学演習」の開講（高等部 準ずる教育課程の類型別に設定） ③ハローワーク訪問（高等部） ④東京都心身障害者福祉センターを活用した 職業評価（高等部2年） ⑤上級学校のオープンキャンパスへの参加（高等部） ⑥部活動や各種大会への参加（中学部・高等部）</p>

## 2. 東京都教育委員会、他の特別支援学校等と協働した取組

①一般企業のオフィスツアー	（全都の肢体不自由校と合同 中学部・高等部）
②都庁実習	（教育委員会等での高等部生徒の実習）
②在宅就業のセミナー・体験実習	（全都の肢体不自由校と合同 中学部・高等部）
③各種セミナー等への参加	（他校と合同 中学部・高等部）

### 3. 保護者等を含めた取組

#### (1) 「進路先希望調査」の実施

小学部6年生、中学部3年生

#### (2) 中学部・高等部進路面談の実施

学年ごとに、下表のように重点課題を分けて、実施する。

保護者・本人・学校（担任または進路指導担当）の3者面談を基本とする。

中 1 2 年	<ul style="list-style-type: none"><li>・6年後に目指す生活に合わせた課題整理の開始（個別の教育支援計画作成）</li><li>・見学済み企業・施設等の確認（説明会への参加等も含む）</li><li>・中学部の進路指導計画について</li></ul>
中 3 年	<ul style="list-style-type: none"><li>・高等部進学までの流れ</li><li>・中学部と高等部の違い（高等部進路指導を含む）</li><li>・高等部への移行支援（高等部への引き継ぎ内容確認）</li></ul>
高 1 2 年	<ul style="list-style-type: none"><li>・3年後に目指す生活に合わせた課題整理（個別移行支援計画の作成）</li><li>・進路指導計画の確認（体験実習の実施と進路選択・進学までの流れ等）</li><li>・実習先希望確認（事業所における支援の実際や利用条件等の確認）</li><li>・装具・車いす、座位保持椅子等の作成について</li></ul>
高 3 年	<ul style="list-style-type: none"><li>・進路先・進学先希望決定</li><li>・進路先や卒業後の生活に応じた具体的な移行支援（卒業後の引き継ぎ内容確認）</li><li>・個別移行支援計画と引き継ぎ資料作成</li></ul>

#### (3) 施設見学の実施

- ・中学部・高等部学習グループ別施設見学の実施
- ・保護者対象施設見学の実施
- ・個別の施設見学等への進路指導担当者の帯同

#### (4) 学区域の3区（板橋区、練馬区、北区）の障害者福祉担当者を招いた福祉サービス研修会の実施

## II. 高等部3年間の進路指導の主な計画

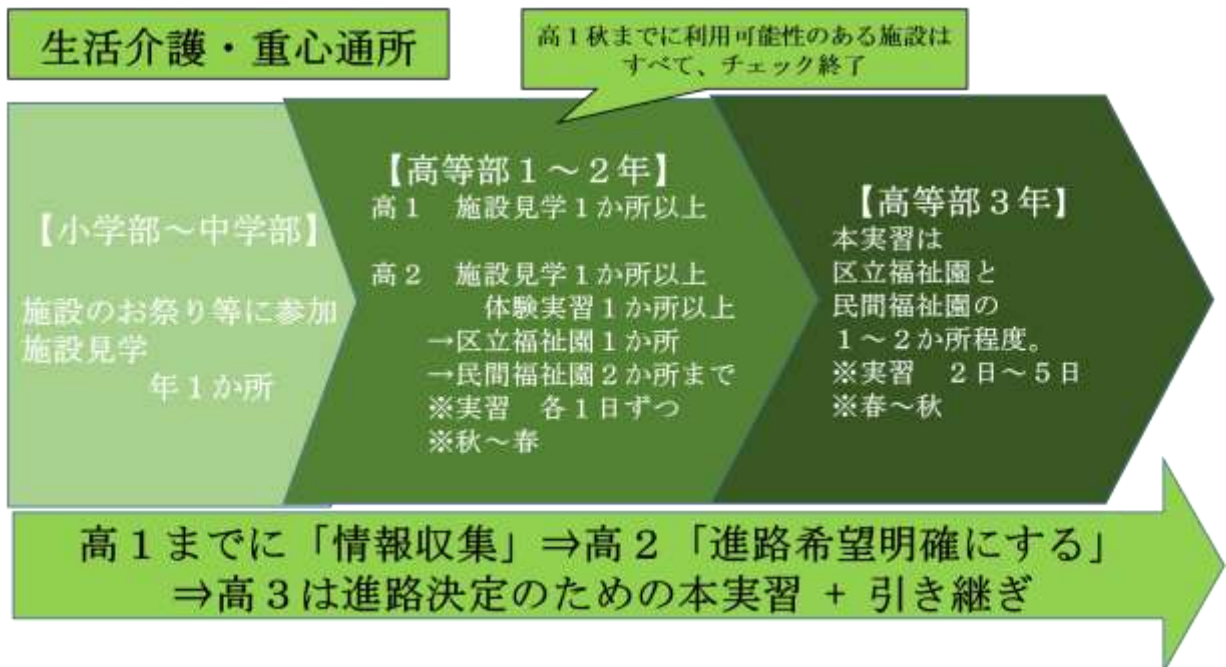
### 1. 【重要用語の説明】

就業技術科・肢体不自由教育部門共に、次のように用語を使い分けています。

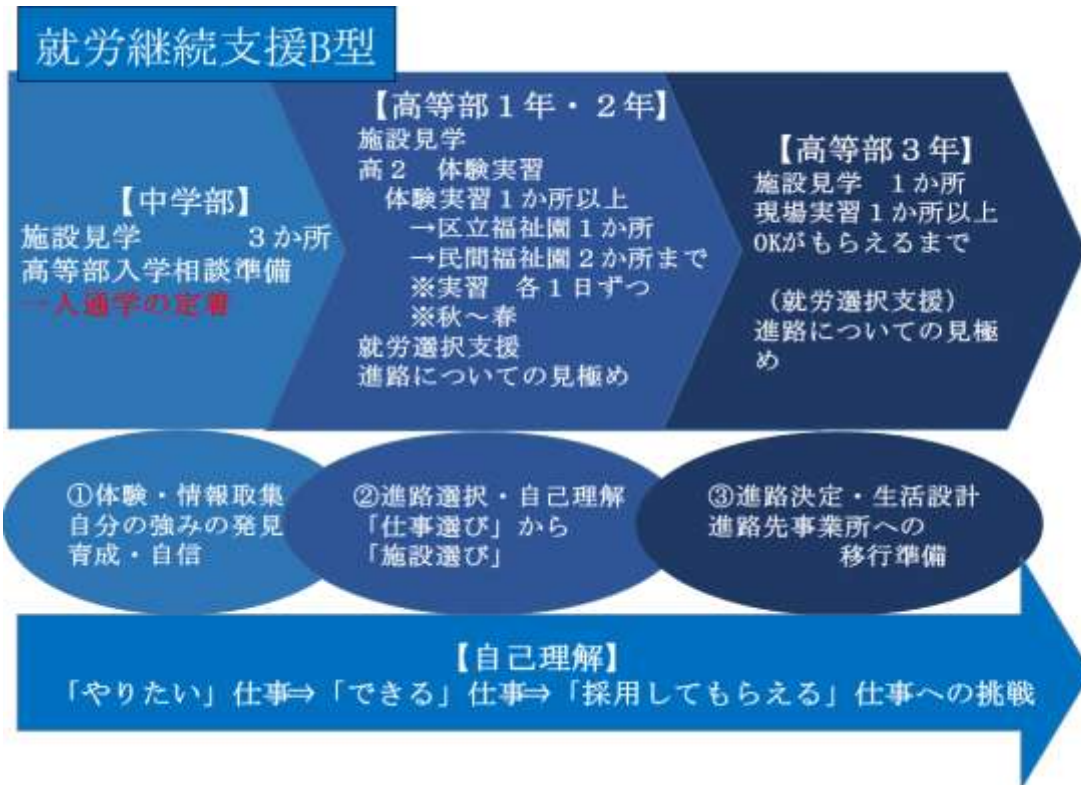
- ①体験実習・高等部2年生時に生活介護・就労継続B型等で行う実習のことを指します。
- ②本実習・高等部3年生時に生活介護・就労継続B型等で行う実習のことを指します。
- ③就業体験・中学部3年生・高等部1年生時に企業や就労移行施設等での体験を指します。
- ④現場実習・高等部2・3年生の企業や就労移行施設等で行う実習を指します。

### 2. 進路先希望の種別ごとの進路決定までの流れ イメージ図

#### (1) 福祉施設（生活介護・重心通所）希望の場合



(2) 福祉就労希望（就労継続支援B型）の場合



(3) 企業就労・福祉就労（就労移行支援 就労継続支援A型）の場合



(4) 就労移行支援利用等を希望する場合の近隣施設の選択肢



(5) 進学希望の場合

